



体育祭/文化祭の要素を取り入れたコロナ対応の学校祭が無事終わりました。思い出と記憶に残る学校行事になりました。3年生は、1週間後、函館に修学旅行に向かいます。

腹は立たない
共感できねば
自分を遣う人に



- ちょっと気になる乳児期の子どもたちの話し
- ・外に行くと、勝手にどこかに行ってしまう
- ・高所が好き・どこでも登ってしまう
- ・大きな音を嫌がる(ピストル・太鼓)
- ・順番を待てない
- ・ルールを守れない
- ・しゃべりだしたら止まらない
- ・そうかと思ったら、ぼっーとしている
- ・しりとり遊びやなぞなぞ遊びが苦手である
- ・個別で話をすればわかるのに、集団での話になると理解が良くない



□思春期になると和らいで消えていくこともあります。思春期や成人で、さらに強化されることもあります。私自身、多動的な傾向があります。じっとしてられないです。そのことに気が付いて、和らげるスキルを感じることができるようになったのは、最近ですが・・・残念ながら、完全制覇と言うことにはなりません。そんなとき、まっいいかあと心でつぶやくことにしています。

□「気づき」が「支援」の始まり→自分の取り扱い説明書

・自分の取り扱い説明書を作成するという発想は、なかなかできません。人からの支援とは別な視点で、自分で自分を支援する方法として、結構、昔から言われていたことです。瞑想や内観法として、利用することになります。自分を許せる＝自分を甘やかすというふうに感じる人が多いので、精神的な心構えとしてその方向性を大切にしていきたいです。

自分の
取り扱い説明書

先生にも幸せになってほしい！

[エピソード] ~先生が生徒からもらったコトバ~

生徒第一で「生徒が恋人」が口癖だった私に、卒業式で、教え子がかけてくれた言葉です。「だって、先生はいつも私たちのことばかりだから」と。うれしくて、溢れ出る涙が止まりませんでした。長崎県「レモンケーキ」さん(48歳)生徒のことを思って、いろいろなお膳立てや準備をすることが多い美瑛中の先生方です。夜遅くまで、教材研究や学級事務や公務分掌部活動の仕事に取り組み、頑張り続けている先生。最近はブラック企業ともいわれる職業で、教師という職業を選ぶ人がすごく少なくなっています。働き方改革という言葉も、頻繁に使われ始めています。身体とところが健康で、生徒や保護者から笑顔がいただける先生方の幸せを私も祈っています。